音声送受信の設定と使い方

i-PRO
The Power of Truth

2025年9月
i-PRO株式会社

パッケージシステム

ネットワークカメラを含むシステムにおいて音声関連の設定方法を記します。
以下、3つの代表するケースがあり、それぞれに応じた設定が必要です。

本資料の参照先
p.3， 4， 5， 8

本資料の参照先
p.4， 5， 6， 7， 8

本資料の参照先
p.9

①PCブラウザでの設定 (ブラウザ運用の場合)

マイクを含む物理的な設置,接続が終わった後、PCブラウザからカメラの音声設定をする方法
※WV-ASM300UX,Remo.の場合は異なります。

(1) マイク/スピーカーそれぞれの、電源ON、(ある場合)スイッチON、ミュート解除を確認する
(2) https://(カメラのIPアドレス) でアクセスする
(3) 「音声」の設定を設定する
　音量 /音声配信モード:双方向(全二重) / 受話音声圧縮方式:AAC-LC
(4) 「カメラ制御」の設定にて受話音量,送話音量を調整する。

①②送話時間

この設定はブラウザ運用/i-PRO Mobile APPの運用共通です。
※ASM300では5分固定です。

マイクスイッチの切り忘れ防止の観点で、送話時間には制限があります。
初期値 ”5min”です。
ブラウザ/カメラの詳細設定画面にて設定します。
　設定可能値　1min/2min/3min/5min/10min/20min/30min/1h

(注意)時間経過後はミュート状態となります。

①② i-PRO Mobile APPでの操作/設定

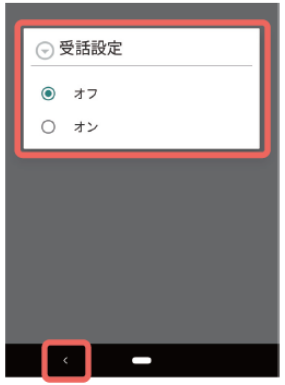
i-PRO Mobile APPからカメラの音声送話/受話をする方法

(★これは①ブラウザ運用(カメラに直接アクセスする場合)/③Remo. Service運用 においても同様です)

■アプリでの受話設定

(カメラ側からの音声を受信する)

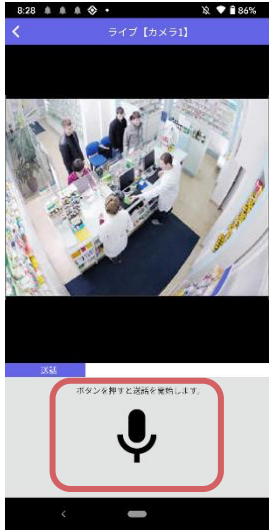
1. 設定画面で「音声設定」をタップする。
2. 「受話設定」をタップする。
3. 音声の受話のオン／オフを設定する。
4. （戻る）をタップする。



■i-PRO Mobile APP から カメラ側への呼びかけ方

1) アプリ起動し、対象のカメラのライブ画面を開きます。
2) 音声送話のボタンを押します。
   ※音声送話機能に対応していない場合はカメラ操作パネルに［音声送話］ボタンは表示されません。
3) 画面が遷移しますので、マイクのボタンを押してから話してください。
   画面内には送話可能な残り時間が表示されます。
   ※送話時間の長さは対象のカメラのブラウザで調整します。
4) 途中で押すと、停止します

押す



押す

押す

②Remo. Service運用 する場合の設定

i-PRO Remo. Serviceにおいて 音声機能を使用するには以下のブラウザ画面で設定が必要です。

■ ブラウザ/カメラの詳細設定画面で

・音声配信モード：　「双方向（全二重）」
・送話音量：　(デフォルトは 中)
・送話間隔：　(デフォルトは 640ms)
・連続送話時間 (デフォルトは 5min)

対象カメラ 詳細設定 ブラウザ画面

■ i-PRO Remo. Service ブラウザ画面で

・ユーザー管理 - 権限設定で“音声送話”を有効にする。
・“描画・音声設定” で 音声 ONにする。

i-PRO Remo. Service ブラウザ画面

②Remo. Serviceで運用方法 (PCブラウザ画面)

i-PRO Remo. Serviceにおいて 音声送話機能を使用するには以下の画面で操作します。

マイクを含む物理的な設置,接続とPCブラウザから音声設定が終わった後、

(1)　マイク/スピーカーそれぞれの、電源ON、(ある場合)スイッチON、ミュート解除を確認する
(2)　対象のカメラ(1画面表示)にアクセスする
(3)　画面右下のマイクのマークを押します

①② i-PRO設定ツール(iCT) を使う場合

マイクを含む物理的な設置,接続が終わった後、i-PRO設定ツールからカメラの音声設定をする方法

(1) ログイン時に「機器との接続にHTTPSを優先します」にチェックをします。
(2) ログイン後、プロフェッショナルモードで開きます。
「全ての機器」が表示されているところで、「HTTP(S)」のポートがHTTPSポートであることを確認します。(デフォルトの場合は443)
(3) 「カメラの一括設定」を押して、設定画面に入ります。 音声ー 音声配信で設定をします

© i-PRO | All Rights Reserved.

③ASM300で運用方法

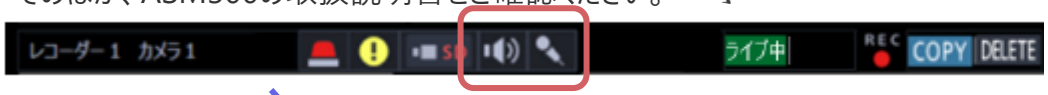
ASM300においては、運用可能な場合に操作画面モニター画面の ステータスバーに、[受話]ボタン、[送話]ボタン が表示されます。
また、設定画面において [システム]ボタン - [描画・音声設定]タブをクリックして表示される描画・音声設定画面で設定が必要です。

【音声】

音声機能を使用するかどうかを選択します。

- オン：音声（送話／受話）機能を使用します。
- オフ：音声（送話／受話）機能を使用しません。

そのほか、ASM300の取扱説明書をご確認ください。 ↘



■ ［受話］ボタン

受話音声（PCで聞く）のオン / オフを切り換えます。ボタンをクリックすると、表示が に切り換わり、カメラからの音声が聞こえなくなります。

メモ

- ボタン上で右クリックするとポップアップメニューが表示され、受話音量を強／中／弱の3段階で調節できます。
- 多画面表示時は左上の画像配置エリアのカメラからの音声が出力されます。左上以外に選択枠を移動した場合はボタンが非表示になりますが、左上の画像配置エリアのカメラからの音声が出力されます。
- 別のユーザーが同一カメラに対して送話中の場合は、表示が に切り換わり、ボタンが無効になります。また、一部のカメラはカメラからの音声も聞こえなくなります。

■ ［送話］ボタン

送話音声（PCから話す）のオン / オフを切り換えます。ボタンをクリックすると、表示が に切り換わり、PCから音声が送れなくなります。

メモ

- 送話音量は調節できません（一部のカメラはカメラ側の設定で送話音量を調節できます）。
- 多画面表示時は左上の画像配置エリアのカメラに対して音声を出力します。左上以外に選択枠を移動した場合はボタンが非表示になりますが、左上の画像配置エリアのカメラに対して音声を出力します。
- 別のユーザーが同一カメラに対して送話中の場合は、表示が に切り換わり、ボタンが無効になります。また、PCから音声が送れなくなります。
- 1回の送話時間は最大で5分間です。5分経過すると、受話状態に戻ります。再度、送話を行う場合は、［送話］ボタンをクリックしてください。
- レコーダーを経由して画像を受信しているカメラの場合は送話機能がないため、［送話］ボタンが表示されません。

イヤホンジャックへ外付けマイクを接続するときの注意点

■ マイクとPCをつなぐときの注意点

カメラからの音声の受け側(PC,スマホ,タブレット)にマイクを接続する場合は
イヤホンジャック(ステレオミニプラグ)またはＵＳＢ端子による接続が多いと思われます。

とくにイヤホンジャックにつなぐ場合はプラグの規格に注意が必要です。
イヤホンジャックの横にヘッドセットのマークがある場合は4極です。
4極の端子はさらに「CITA」と「OMTP」という2種類の規格があり、
現在は「CITA」規格が一般的です。

ヘッドセットのマークの
イヤホンジャック

4 極ミニプラグ

イヤホンジャックを経由してマイクを接続する場合はプラグとジャックの規格を合わせてください。

ボタン	メーカー	延長ケーブル	変換ケーブル
WM-561	Panasonic	φ6.3ジャック モノラル標準プラグ ケーブル(オスーメス)	下記参照

ステレオミニプラグ−ステレオ標準ジャックの変換ケーブル

■ 標準プラグのマイクをPCに接続するには (変換方法)

WM-561など大型単頭プラグのマイクをPCにつなげる方法を紹介します。

1) ステレオミニプラグ−ステレオ標準ジャックの変換(例: [JVC]CN-233A)を使って、
マイクの標準プラグを3極のステレオミニプラグに変換します
2) PC用オーディオ変換ケーブル 3極-4極を使って、PCとつなぎます。
(例:[MCO]PAA-3P4P (JAN)4951241144175)

PC用オーディオ変換ケーブル 3極-4極

改版履歴

版	日付	変更内容
1.0版	2024.11	初版　発行
1.1版	2025.9	イヤホンジャックへ外付けマイクを接続するときの注意点　を追記

i-PRO

The Power of Truth